

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和7年度長期就農研修 NEWSLETTER（6月分）

アグリカレッジ福島は、関係機関と連携して研修生を
支援しています！ ～県農林事務所・県農業振興公社編～

研修生同士が研修進捗状況を報告・共有しました！



挨拶の様子

研修生からは、「次回の畝立てはかん水チューブの位置も考えて行いたい。」「病害虫防除については、気が付いたそのときに、農薬を散布すれば良かった。」など、多くの気づきや改善案が報告され、研修生自らが計画的に実践する本研修の効果を確認することができました。

令和7年6月9日に5月の実績報告と、6月の計画について、各研修生が発表を行いました。今回は県中農林事務所農業振興普及部、県中農林事務所須賀川農業普及所、県農業振興公社（県中地域担当）も参加し、研修生の研修進捗状況をヒアリングしました。



ヒアリングの様子



研修生同士の質疑応答の様子

関係機関からは、「初めて農業に取り組む新規就農者の苦勞話しが聞けて、今後の支援の参考にしたい。」「今後も農短大と連携して研修生を支援していきたい。」などのコメントがありました。

研修生奮闘記



職員へ相談する様子（写真左：I氏）

農地取得に向けては、市町村の対応に温度差があり困惑している。また農地が見つかったとしても、作業場や空き家が近くにないので、話しが進まない状況である。

銀行から融資を受けるには、綿密な（収益）計画が求められる。想像以上に甘くはなかった。



作業計画の打合せ（写真右：後藤創紀氏）



ネギの定植作業（写真右：渡部佑樹氏）

研修期間中のアルバイトは一切せず、空き時間（作業をしない時間）は自習にあてている。最近、研修先のネギ農家さんが言っていることが、ようやく分かってきて、嬉しくなった。

アグリカレッジ福島（QRコード左）やふくのう（QRコード右）のInstagramもぜひ御覧ください！



同じように定植、栽培しても、
作物の生育は異なることから、
農業の奥深さを実感している。



研修進捗状況を報告する様子
(写真手前：O氏)



談笑する様子（写真中央：箭内由香氏）

病虫害防除については、「まだ
大丈夫かな」というタイミング
で農薬を散布すれば良かった。
この経験を次作に活かしたい。

水稲 18ha を経営するうえで
は、プール育苗や密苗の導入は
必要不可欠な技術であると考え
ている。密苗の移植後の生育状
況も慣行と比較して遜色ないよ
うなので、来年は徐々にではあ
るが導入したい。



水稲の研修進捗状況について報告する様子
(写真右奥から4人目：大河原幸枝氏)



研修進捗状況報告の様子（写真右から2人目：佐々木寛史氏）

きゅうりの定植後の生育があまり
良くない。原因は、定植後の
低温にあたったことと分析。
次回は定植後の天候まで気を配
りたい。